

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	佐賀県武雄市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	武雄市伝統芸能活性化実施計画		
4 実施計画期間	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>武雄市内には「荒踊」「浮立」などの伝統芸能が多くの地区で継承されており、地域の宝であるといえる。これら伝統芸能の継承及び発展を図るために、下記の取り組みを実施する。</p> <p>計画実施にあたっては、市と武雄市伝統芸能保存連絡協議会が連携して取り組み、伝統芸能に対する理解の向上と、次世代への継承を後押しする。</p>			
6 実施体制			
<p>本事業に係る全体の企画・調整や各補助事業に係る指導等は、以下の担当課が行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武雄市こども教育部 文化課：各補助事業における文化財の取扱い等に関する指導・調整等 <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武雄市伝統芸能保存連絡協議会（会長 古川直喜） <p>構成団体（武雄市内の伝統芸能保存団体／加盟団体19）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 1,614 千円	平成29年度申請額： 336 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>「武雄市伝統芸能まつり」を開催し、複数の伝統芸能を披露してもらうことによって、これまで伝統芸能にせつすることがなかった市民をふくめた人々に対し、武雄の素晴らしい芸能を知ってもらう機会を設けるとともに、一度に多くの伝統芸能を見たいという人々の要望もかなえていく。</p> <p>伝統芸能はマスコミやネット等でも放映・掲載されることが多いので、武雄の魅力を市内外に発信することになり、観光客の集客と武雄の特徴を知ってもらう機会の創出につながる。</p> <p>出演団体に対しては、継承する芸能を地域外の一般の人々に見ってもらうことで励みになり、芸能に対する知識を深め、継承活動に弾みをつけることができる。</p> <p>その他の保存団体についても、出演団体の演技を見ることで刺激を受け、自分たちが伝承する芸能の素晴らしさ・個性を改めて知ることにもなる。保存団体同士の交流も進み、後継者育成の活性化にも効果がある。</p> <p>以上により、地域の伝統芸能に対する市民の関心や意識が高まり、伝統芸能を継承していくことの大切さについて理解を深めてもらうことができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	特になし		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
現在のところ計画の予定なし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	武雄市こども教育部文化課（文化財係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	武雄市伝統芸能保存団体数 (協議会加盟数)			関連事業 :	①	
目標値 1 :	平成 27 年度	19 団体	⇒	平成 31 年度	19 団体	
設定根拠 1 :	武雄市の人口の社会増減から現状維持を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	団体	団体	団体	団体	団体	団体

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	武雄市伝統芸能活性化事業	実施団体：	武雄市伝統芸能保存連絡協議会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 27 年度	～	平成 31 年度	
事業概要：	「武雄市伝統芸能まつり」を開催し、市内の伝統芸能保存団体が伝承している芸能を披露する。市内外の観客に武雄の芸能の素晴らしさを知ってもらうとともに、出演する団体にとっても自身の芸能を観てもらうことで刺激になり、伝統芸能継承への機運を高める。					
評価指標区分：	・フェスティバル出演団体の保存会会員数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	各地域における人口減少・高齢化の状況から、協議会加盟保存団体の会員数の現状維持を目標とする。					
目標値：	平成 28 年度	2,938 (単位)	⇒	平成 31 年度	2,938 (単位)	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)